



教会短信

2015年4月12日

No. 62

牧師 間瀬 善彦

NHK朝のドラマ「マッサン」が3月で終わりました。とてもよいドラマでした。日本で初めてウイスキーを造った、竹鶴政孝とリタ夫妻がモデルのドラマでした。リタはドラマでは、エリーとなっています。まだ国際結婚が大変珍しかった時代、スコットランド（イギリス）で2人は出会い、日本での本格的なウイスキー製造を夢見て、2人は日本に来ました。日本酒に慣れていた日本人には、ウイスキーはなかなか受け入れられず、大いに苦労させられます。度重なる困難な中でも、2人は支え合い、愛し合って、北海道の余市で念願のウイスキー造りを成功させたのです。

ドラマの最後の方でエリーは、「人生は冒険旅行」のようなものだ、と言っていたのが印象に残りました。まさに、日本で初めてウイスキー造りに挑戦したマッサンとエリーの人生そのものが、冒険旅行でした。どちらかという、人は慣れ親しんだ安定した生活を願うものなのではないでしょうか。そういう意味で、あまり冒険をしたがらないのです。しかし、人が何か新しいことを始めようとすれば、不安は付きものです。不安はあっても、自分の夢を実現させようとして、果敢に挑戦していく生き方、これを冒険旅行と言ったのでしょうか。

聖書でも、人生を旅にたとえています。聖書の中には、夢をたずさえて冒険旅行に旅立った人がたくさん登場しています。その中で、イエス・キリストは神の御子でありながら、この世へ、人類の救いのために人となって旅立ってきたお方です。神の御子のままで生活していたら、天使たちに仕えられ、平穏な人生が約束されていたのです。イエス・キリストが人となってこの世に来たのは、父なる神から与えられた使命を全うするためでした。そのために、イエス・キリストはわたしたちのためにたくさんの苦労を経験することとなりました。多くの人びとからは受け入れられず、十字架につけて殺されたのです。しかし、神はそのままにしておかれませんでした。イエス・キリストを3日目に復活させられました。このようにキリストを死から復活させられることを通して、人類を罪から救うという、イエス・キリストの冒険旅行が決して無駄ではなかったのだ、ということを示されたのです。なぜなら、だれでもイエス・キリストを自分の罪の救い主と信じる者は、救われるからです。

皆さんも、これからの人生に困難なことがあっても、夢に向かって、希望を持って、冒険旅行をしてください。

ヘンリ・ナウエン著『放蕩息子の帰郷—父の家に立ち返る物語』の感想

わっ君が駆け回る。

わっ君は献金を緊張して献げる。

わっ君がおかあさんに抱っこをせがむ

おかあさんの抱擁は至上のやすらぎ。

笑顔のわっ君は教会の宝物。

高ぶるときがある。

鎧を脱ぎ捨てる。

戦いであぶらぎった皮膚を洗い流しても

自分一人では洗い落とせないものがある。

帰りたいとつぶやくことがある。

父親のもとでもない、母親のもとでもない

帰りたいと思うところがある。

夕暮れ

里山の草むらに佇むと

五月の風がガリラヤに運んでくれる。

み言葉がほしい

快樂に耽り続けたいなら行末など考えるな。

どんなにそしられようが、どんなにひもじいだろうが

自分が求めた道だ。胸を張れ。

そんなお前の虚勢に、父親のすべてを包むあわれみがお前をおおう。

まじめそうなキリスト者よ

心のなかの嫉妬を抑えよ

心のなかの憎しみを捨てろ

心のなかの自惚れを摘んでしまえ

おまえの赤いマントがなくなったことに気づけ

裸でみすぼらしいお前に
父親は自分の赤いマントを掛けてくださる。

幼子のようになれといわれた。

幼子になったら

わっ君のやすらぎの笑顔があたえられる。

Y. I

・聖書の「放蕩息子」のたとえとは、

ある人に2人の息子がいて、下の息子は自分の分け前の財産をもらって家を飛び出しました。さんざん放蕩の限りを尽くして、とうとう食べる物もなくなり、許されるはずがないと思いつつも、父親の所に帰りました。

ところが、父親は遠くからみすぼらしい格好の下の息子を見つけ、走り寄って抱きしめました。そして、父親は自分が羽織っていた赤いマントを下の子にかけて、喜びました。

・わっ君とは、教会に来ている2歳の男の子のことです。



★教会バザーのご案内

4月19日（日） 12:30-14:30

色々と準備いたしております。おいしいケーキセットもあります。

ごゆっくり教会でおくつろぎください。

聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讃美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

聖書研究・祈り会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

教会学校（幼児科）

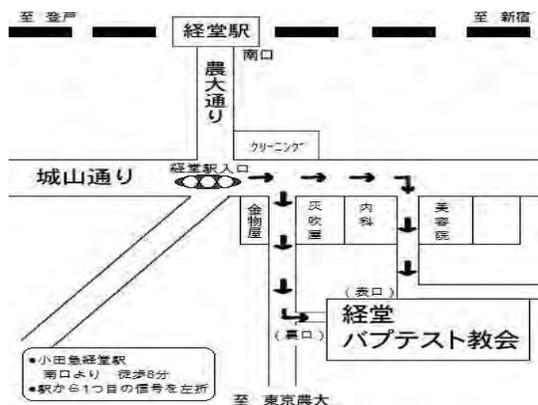
- かわいい讃美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。